

キャリパーセット 取扱説明書

製品番号 06-08-0174

適応車種	モンキー / ゴリラ (Z50J-1300017 ~)
	(AB27-1000001 ~)
	モンキー (FI) (AB27-1900001 ~)

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。

使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。

万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合があります。予めご了承下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。

◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。

◎当製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。

◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。

◎当製品は、上記適応車種の車両専用用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意ください。

◎当製品の取り付け作業の際は、上記適応車種にあった純正サービスマニュアルを必ず参照し、確実に行って下さい。

◎ブレーキの取り付け作業については、有資格者の分解整備作業にあたる為、整備士資格の持った方に依頼し、専用の設備・工具のある指定工場、又は認証工場等で行って下さい。

◎当製品付属のフロントブレーキマスターシリンダーにはフルード確認窓がありません。ブレーキフルードの量はカップ内の上限線にてご確認ください。

◎当取扱説明書は、基本的な技術や知識を持った方を対象に作成しております。取り付けに必要な工具等をお持ちで無い場合は取り付け作業を行わずに、指定工場、又は認証工場などの車両整備が可能な業者へ取り付けをご依頼下さい。

◎不明な点がございましたらお買い求め販売店にお問い合わせ下さい。

注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

■作業を行う際は、必ず冷間時（エンジン及びマフラーが冷えている時）に行ってください。（火傷の原因となります。）

■作業を行う際は、平坦で足場のしっかりしたところを選び、車両を安定させた状態で行ってください。

■作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）

■ブレーキホースに使用するシーリングワッシャは、着脱ごとに必ず新品部品を使用して下さい。また、再使用する部品については、よく点検し摩耗や損傷がある場合は、必ず新品部品と交換して下さい。

■規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。（ボルト及びナットの破損、脱落の原因となります。）

■製品及びフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。（ケガの原因となります。）

■走行前は必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。（部品の脱落の原因となります。）

■ブレーキフルードは、なるべく皮膚に触れないようにし、作業後は十分手洗いを行ってください。（手荒れの原因となります。）

■ブレーキフルードは、塗装面・樹脂部品・ゴム製品類等に付着させない様に作業は十分注意して行って下さい。付着した場合は速やかに水洗いを行ってください。（部品の損傷・劣化の原因となります。）

警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

■技術、知識などが無い方は作業を行わないで下さい。（部品破損などの原因により、転倒、事故につながる恐れがあります。）

・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）

■作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）

■点検、整備は取り扱い説明書又はサービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。（不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）

■点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければその部品を再使用する事は避け、損傷部品の交換を行ってください。（事故につながる恐れがあります。）

■ブレーキ液は指定のブレーキ液を使用。銘柄の異なるブレーキ液を混用しないで下さい。（トラブルの原因及び化学変化の恐れがあります。）

■ブレーキの取り付け作業については、有資格者の分解整備作業にあたる為、整備士資格の持った方に依頼し、専用の設備・工具のある指定工場、又は認証工場等で行って下さい。（事故につながる恐れがあります。）

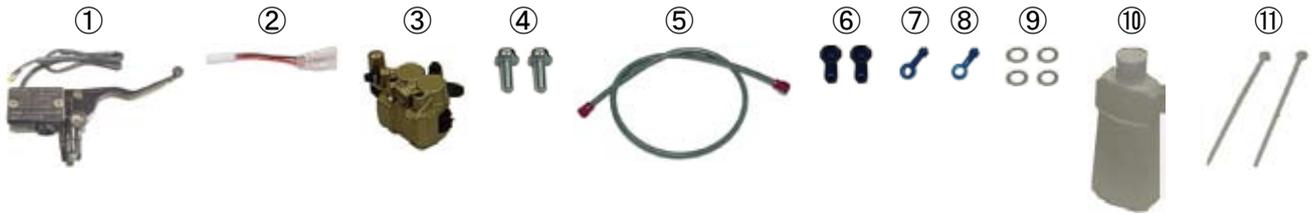
■ブレーキディスクローター及びブレーキパッドに油脂類を付着させないで下さい。万一、付着した場合、パッドは交換し、ディスクローターは脱脂を行ってください。（事故につながる恐れがあります。）

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品及び価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。

◎クレームについては、材料及び加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。

但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。

◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいますようお願い致します。



番号	部品名	個数	リペア品番
1	フロントブレーキマスターシリンダー ASSY. (11mm)	1	06-08-1169
2	ウインカーサブコード	1	09-03-0007 (2ヶ入り)
3	フロントブレーキキャリパー ASSY.	1	06-08-115
4	フランジソケットキャップスクリュー 8x25	2	00-00-0830 (3ヶ入り)
5	ブレーキホース (775mm)	1	00-06-0204
6	バンジョーボルト M10x1.25	2	00-07-0131 (シーリングワッシャ付)
7	バンジョー (ストレート)	1	00-07-0006
8	バンジョー (45°)	1	00-07-0039
9	アルミシーリングワッシャ 10mm	4	00-00-0789 (5ヶ入り)
10	ブレーキフルード	1	06-08-0019
11	結束バンド	2	00-00-0179 (10ヶ入り)

※リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。

品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。

尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいませお願い致します。

■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

○フロントフォークに③フロントブレーキキャリパー ASSY. を④フランジソケットキャップスクリュー 8x25 で規定トルクで締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
フランジソケットキャップスクリュー
トルク：26N・m (2.6kgf・m)

※キャリパー取り付け時にホイールと干渉しますので、一旦ホイールハブ取り付けボルトを緩め干渉しないよう取り付けして下さい。



○ホイールハブを取り付けているフランジソケットキャップスクリュー 8x20 を規定トルクで締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
フランジソケットキャップスクリュー
トルク：25N・m (2.5kgf・m)

○ストップスイッチサブハーネス、ウインカースイッチ (コンビネーションスイッチ) の配線を接続します。

※モンキー (FI) の場合

ストップスイッチサブハーネスと②ウインカーサブコードを接続し、配線を接続します。

○⑥バンジョーボルト M10x1.25 に⑨アルミシーリングワッシャ 10mm、⑦バンジョー (ストレート)、⑨アルミシーリングワッシャ 10mm の順で通し、①フロントブレーキマスターシリンダー ASSY. (11mm) に取り付け仮締めします。



○フロントキャリパー側は⑧バンジョー (45°) を①フロントブレーキマスターシリンダー ASSY. (11mm) と同様の方法で取り付けます。



○⑤ブレーキホース (775mm) を各バンジョーに取り付けます。
バンジョーの取り付け角度、ブレーキホースの取り回しが決まれば、⑥バンジョーボルト M10x1.25、⑤ブレーキホース (775mm) のフィッティングを規定トルクで締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
バンジョーボルト
トルク：15N・m (1.5kgf・m)
フィッティング
トルク：6N・m (0.6kgf・m)

※⑤ブレーキホース (775mm) の取り回しは、ハンドル操作時やフロントフォーク作動時に無理のかからない状態になるように注意して行って下さい。

○ハンドル位置の調整が必要な場合、ハンドルホルダーのボルトを緩め、ハンドル位置を調整し再度規定トルクに締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト
トルク：12N・m (1.2kgf・m)

○ブレーキのエア抜きを行います。
○⑤ブレーキホース (775mm) が他の部分と干渉しないように⑪結束バンド 200mm で固定し、余った部分はニップ等で切り取ります。
※パウンド、リパウンド時にホースが突っ張らないように固定して下さい。

ブレーキのエア抜き要領

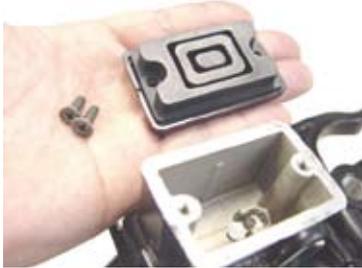
⚠ 注意

- ブレーキフルード補充時にゴミや水を混入させない事。
- 銘柄の異なるブレーキフルードを混用しない事。
- ブレーキフルードは付属のものを使用する事。DOT4 (BF-4)
- 抜き取ったブレーキフルードは再使用しない事。
- ブレーキフルードは塗装、プラスチック、ゴム面を傷めるので部品類に付着させない事。
(付着した場合は、速やかにブレーキフルードを洗い流す事。)
- ブレーキホースの取り外しの際など油圧系統に空気が混入した場合は、油圧系統のエア抜きをする事。
- シーリングワッシャは再使用しない事。
- 規定トルクは必ず守る事。

⚠ 警告

- ブレーキディスクローター及びブレーキパッドに油脂類を付着させない事。
万一、付着した場合はパッドを交換し、ディスクローターは脱脂する事。
- 損傷部品が見つければその部品は必ず新品と交換する事。

- ・フロントブレーキマスターシリンダー ASSY. の2本のスクリューを取り外し、マスターシリンダーキャップ、ダイヤフラムを取り外す。



- ・ブレーキキャリパー ASSY. のブリーダーバルブに透明なブリーダーホースを接続し、ホースの反対側に適当なカップなどで受ける様にする。



- ・フロントブレーキマスターシリンダー ASSY. のカップ内にブレーキフルードを上限線まで補充する。



- ⚠ 注意：ゴミや水を混入させない事。
- ⚠ 注意：銘柄の異なるブレーキフルードを混用しない事。

- ・ブリーダーバルブを1/2回転緩め、ブレーキレバーを握る、放すを繰り返し、ブリーダーバルブからブレーキフルードが充分出てくるまでこの作業を繰り返す。



- ※オイルカップのブレーキフルード量に注意し新しいブレーキフルードを補充しながら作業を行う。



ブレーキレバー

- ・ブレーキレバーを握ったままブレーキキャリパー ASSY. のブリーダーバルブを1/2回転緩めた後、再び締め付ける (①)。
※ブリーダーバルブを緩めた状態でブレーキレバーを戻さない事。
- ・ブレーキレバーをゆっくりと戻し、完全に戻ったらそのまま数秒間放置する (②)。



ブレーキレバー



- ・①、②の操作をブリーダーバルブから気泡が出なくなるまで繰り返す。
※カップ内のブレーキフルードの量を確認しながら作業を行い、下限線付近まで減少していれば補充する。

- ・ブリーダーバルブから出てくるブレーキフルードにエアの混入が無くなればブリーダーバルブを規定トルクで締め付ける。



- ⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
ブリーダーバルブ
トルク：5.9N・m (0.6kgf・m)

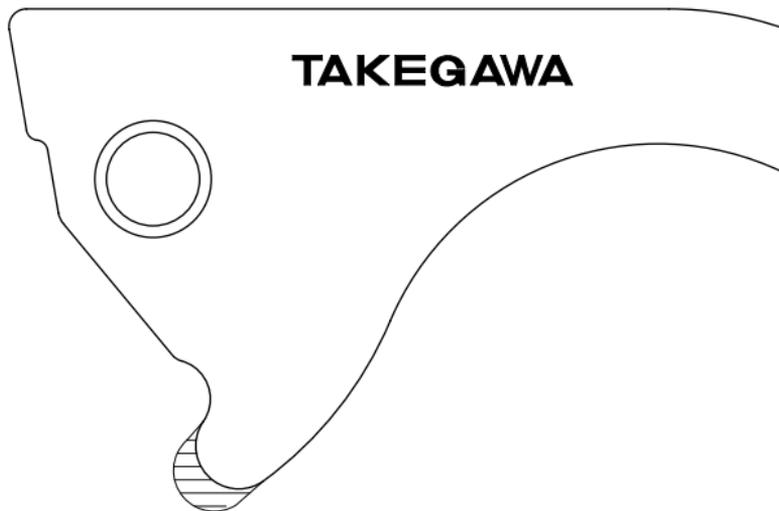
- ・オイルカップの上限線までブレーキフルードを補充し、ダイヤフラム、マスターシリンダーキャップをスクリュー2本を用いて取り付ける。



- ⚠ 注意：ゴミや水を混入させない事。

マスターシリンダーのご使用について

ブレーキの引きずりがある場合は、レバーの斜線部分をヤスリ等で削って調整して下さい。



SPECIAL PARTS
TAKEGAWA